

西野田工科高校(全・定)、布施工科高校・城東工科高校

生野工業高校の募集停止は撤回を!

道理のない高校つぶしに反対する署名

大阪府教育委員会は、8月28日の教育委員会会議で「府立学校条例、再編整備計画に基づく令和5年度実施対象校(案)」「大阪市立高校移管計画における再編整備対象校の募集停止時期(案)」を示し、「様々な意見を踏まえ、11月の教育委員会会議で最終決定する」としました。

その内容は、①府立西野田工科高校(全日制・定時制)を募集停止し、府立今宮工科高校に機能統合する、②府立布施工科高校と府立城東工科高校を統廃合し、城東工科高校の校地に新校を設置する、③すでに3校を統廃合し新校を設置する方針が示されている府立生野工業高校、府立泉尾工業高校、府立東淀工業高校のうち、生野工業高校を他の2校に先行して募集停止する、などで、実施時期は2025(令和7)年度としています。これは以下の点からきわめて不当です。

第一に、子どもたちの「学ぶ権利」を保障するために設置されている公立高校の定員には「ゆとり」があつて当然です。「定員に満たない」ことを理由に廃校にするなど道理がありません。第二に、ものづくりのまち大阪を支える人材を育成している工科高校・工業高校をつぶすことは、大阪の産業をつぶすことにつながります。第三に、少子化を理由に学校をつぶす前に、少子化をチャンスと捉え、少人数学級の実施や学校の小規模化など、教育条件の改善こそ行うべきです。

以上のことから、下記について強く要請します。

記

1. 大阪府立西野田工科高校(全・定)、布施工科高校・城東工科高校、生野工業高校の募集停止案を撤回すること。
2. 大阪の産業を支える人材を育成している工業系高校の統廃合を行わないこと。
3. 「3年連続して定員に満たない高校は再編整備の対象」としている大阪府立学校条例を抜本的に見直し、少子化をチャンスと捉え、少人数学級の実現や学校規模の縮小など、すべての府立高校の教育条件を改善すること。

大阪府教育委員会 教育長 橋本正司 様

2023年 月 日

氏名	住所